

**dB**Technologies

# DVA MINI G2

2-Way アクティブ ライン アレイモジュール







取扱説明書



# MINI G2









## 安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

	<p><b>警告</b> 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。</p>
 <p>電源プラグをコンセントから抜く</p>	<p>万一、異常が起きたら 煙が出た、変なおいや音がするときは 機器の内部に異物や水などが入ったときは この機器を落とした、カバーを破損したときは すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 異常状態のまま使用すると、火災/感電の原因となります。 販売店またはティアック 修理 センター (巻末に記載) に修理をご依頼ください。 万一、煙が出ていたり、変なおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。 すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。 煙が出なくなるのを確認して、販売店まで修理をご依頼下さい。</p>
 <p>指示</p>	<p><b>電源プラグにほこりをためない</b> 電源プラグとコンセントの周りにゴミやほこりが付着すると、火災/感電の原因となります。 定期的 (年 1 回くらい) に電源 プラグを抜いて、乾いた布でゴミやほこりを取り除いてください。</p>
 <p>禁止</p>	<p><b>電源コードを傷つけない</b> 電源コードの上に重い物を載せたり、コードを壁や棚との間に挟み込んだり、本機の下敷きにしない 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、熱器具に近づけて加熱したりしない コードが傷んだまま使用すると火災/感電の原因となります。 万一、電源 コードが破損したら (芯線の露出、断線など)、販売店またはティアック 修理 センター (巻末に記載) に交換をご依頼ください。</p> <p><b>専用の電源コードを他の機器に使用しない</b> 故障、火災、感電の原因となります。</p> <p><b>交流100ボルト以外の電圧で使用しない</b> この機器を使用できるのは日本国内のみです。 表示された電源電圧 (交流 100 ボルト) 以外の電圧で使用しないでください。 また、船舶などの直流 (DC) 電源には接続しないでください。 火災/感電の原因となります。</p> <p><b>この機器を設置する場合は、放熱をよくするために、壁や他の機器との間は少し (20cm 以上) 離して設置する隙間を空けないと内部に熱がこもり、火災の原因となります。</b></p> <p><b>この機器の通風孔をふさがない</b> 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。</p> <p><b>この機器の隙間などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込む、または落とさない</b> 火災/感電の原因となります。</p>
 <p>禁止</p>	<p><b>機器の上に花瓶や水などが入った容器を置かない</b> 内部に水が入ると火災/感電の原因となります。</p>
 <p>分解禁止</p>	<p><b>この機器のカバーは絶対に外さない</b> カバーを外す、または改造すると、火災/感電の原因となります。 内部の点検/修理は販売店またはティアック 修理 センター (巻末に記載) にご依頼ください。</p> <p><b>この機器を改造しない</b> 火災/感電の原因となります。</p>

## 安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

	<p><b>警告</b> 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。</p>
 <p>指示</p>	<p>設置の際は、資格や経験を持った人(専門業者)に必ず依頼する 天井や壁掛け設置、床などに設置の際は、設置場所の強度を確保する 使用者は必ず安定性と安全性を確認して人や動物・機器に損害を与えないようにしてください。 天井/壁/柱/床などに設置する場合は、設置部分の強度が機器の総重量に十分対応可能か確認してください。</p>
	<p><b>注意</b> 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。</p>
 <p>電源プラグをコンセントから抜く</p>	<p>移動させる場合は、電源のスイッチを切るか、またはスタンバイにし、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外す コードが傷つき、火災/感電の原因や、引っ掛けてけがの原因になることがあります。</p> <p>旅行などで長期間この機器を使用しないときやお手入れの際は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く 通電状態の放置やお手入れは、漏電や感電の原因となることがあります。</p>
 <p>指示</p>	<p>オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明にしたがって接続する また、接続は指定のコードを使用する</p> <p>電源を入れる前には、音量を最小にする 突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となる場合があります。</p> <p>この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグは簡単に手が届くようにする 異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるようにしてください。</p> <p>この機器には、専用の電源コードを使用する それ以外の物を使用すると、故障、火災、感電の原因となります。</p>
 <p>禁止</p>	<p>ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない 湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たる場所に置かない 火災/感電やけがの原因となる場合があります。</p> <p>電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない コードが傷つき、火災/感電の原因となる場合があります。 必ずプラグを持って抜いてください。</p>
 <p>禁止</p>	<p>濡れた手で電源プラグを抜き差ししない 感電の原因となる場合があります。</p>
 <p>注意</p>	<p>5年に1度は、機器内部の掃除を販売店またはティアック 修理 センター (巻末に記載) にご相談ください。 内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となる場合があります。 特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については、ご相談ください。</p>

## 目次

安全にお使いいただくために.....	2
商標および著作権に関して.....	4
はじめに.....	4
本製品の構成.....	4
本書の表記.....	4
別売りアクセサリ.....	5
ユーザー登録について.....	5
アフターサービス.....	5
設置上の注意.....	5
結露について.....	5
製品のお手入れ.....	5
本機の概要.....	6
設置方法.....	6
本機の機構説明.....	6
ラインアレイ構成によるフロント側の取り付け.....	7
ラインアレイ構成によるリア側の取り付け.....	7
フライバー DRK-M5(別売り)を使った構成.....	8
電源/コントロール パネルの名称.....	8
コントロール部.....	8
電源部.....	9
電源および外部機器との接続.....	10
電源と電源リンクの接続.....	10
オーディオ信号の接続.....	10
RDNetの接続.....	11
カバレッジ/フィルタープリセット.....	11
各種ダウンロード.....	12
dBTechnologies Composerのダウンロード.....	12
AURORA NET ソフトウェアのダウンロード先.....	12
ソフトウェアの使用に関して.....	12
F/Wアップデート	
(USB Burner Manager ソフトウェア).....	12
リモート機器の取扱説明書ダウンロード先.....	12
アクセサリの取扱説明書ダウンロード先.....	12
トラブルシューティング.....	13
仕様.....	13
一般.....	14
寸法図.....	14

## 商標および著作権に関して

- TASCAM およびタスカムは、ティアック 株式会社の登録商標です。
- Neutrik および etherCON は、Neutrik AG の登録商標です。また、powerCON および TRUE 1 は、Neutrik AG の商標です。
- Digipro は AEB INDUSTRIALE SRL の商標です。
- dBTechnologies は A.E.B Industriale SRL のそれぞれの国における商標または登録商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

## はじめに

このたびは、dBTechnologies DVA MINI G2をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しい取り扱い方法をご理解いただいた上で、未永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。お読みになったあとは、いつでも見られるところに保管してください。

- 取扱説明書(日本語)は、TASCAMのウェブサイトからダウンロードすることができます。

<https://tascam.jp/jp/>

- 最新版の取扱説明書(英語)については、dBTechnologiesのウェブサイトのダウンロードページから、“DVA Mini G2”の項目を選択し、上段“Manuals”の列から対象となるPDFファイルをダウンロードしてください。

<https://www.dbtechnologies.com/en/downloads/>

## 本製品の構成

本製品の構成は、以下の通りです。

なお、開梱は本体に損傷を与えないよう慎重に行ってください。梱包箱と梱包材は、後日輸送するときのために保管しておいてください。付属品が不足している場合や輸送中の損傷が見られる場合は、当社までご連絡ください。

- 本体..... × 1
- 取扱説明書(本書、保証書付き)..... × 1  
    専用電源コードに関するお問い合わせは、タスカムカスタマーサポート(巻末に記載)までご連絡ください。

## 本書の表記

本書では、以下のような表記を使います。

- 本機および外部機器のボタン/端子などを「POWER」のように太字で表記します。
- 本機のディスプレイに表示される文字を“MAIN”のように“ ”で使って表記します。

### ヒント

本機を、このように使うことができる、といったヒントを記載します。

### メモ

補足説明、特殊なケースの説明などを記載します。

### 注意

指示を守らないと、人がけがをしたり、機器が壊れたり、データが失われたりする可能性がある場合に記載します。

---

## 別売りアクセサリ

---

輸送や本体設置のために下記の別売りアクセサリが、ご使用になれます。

- DRK-M5：フライバー  
(吊り下げフレーム：最大荷重400 kg)
- DSA-M2：ポールマウントアダプター  
(スピーカーポール)
- DSF M2：スタックアダプター  
(サブウーファーに設置用)
- DT-8MINI：トローリー (運搬用台車)  
(本機を最大8台まで積載可)
- RC M2：レインカバー

---

## ユーザー登録について

---

TASCAMのウェブサイトにて、オンラインでのユーザー登録をお願いいたします。

<https://tascam.jp/login>

---

## アフターサービス

---

- この製品には、保証書が添付 (巻末に記載) されています。大切に保管してください。万が一販売店印の捺印やご購入日の記載が無い場合は、無料修理保証の対象外になりますので、ご購入時のレシートなどご購入店 / ご購入日が確認できるものを一緒に保管してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年です。保証期間中は、保証書に記載の無料修理規定によりティアック 修理 センター (巻末に記載) が無料修理致します。その他の詳細については、保証書をご参照ください。
- 保証期間経過後、または保証書を提示されない場合の修理については、お買い上げの販売店またはティアック 修理 センター (巻末に記載) にご相談ください。修理によって機能を維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- 万一、故障が発生した場合は使用を中止し、お買い上げの販売店またはティアック 修理 センター (巻末に記載) までご連絡ください。
- 修理を依頼される場合は、次の内容をお知らせください。なお、本機の故障、もしくは不具合により発生した付随的損害 (録音内容などの補償) の責については、ご容赦ください。
  - 型名、型番 (DVA MINI G2)
  - 製造番号 (Serial No.)
  - 故障の症状 (できるだけ詳しく)
  - お買い上げ年月日
  - お買い上げ販売店名
- お問い合わせ先については、巻末をご参照ください。
- 本機を廃棄する場合に必要な収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

---

## 設置上の注意

---

- 設置は、資格や経験を持った人(専門業者)が必ず行い、使用者は必ず安定性と安全性を確認して人や動物・機器に損害を与えないようにしてください。
- 本機の動作保証温度は、摂氏-5度~50度です。
- 次のような場所に設置しないでください。音質低下の原因、または故障の原因となります。
  - 暖房器具のそばなど極端に温度が高い場所
  - 極端に温度が低い場所
  - 湿気が多い場所や風通しが悪い場所。
- 放熱をよくするために、本機の上には物を置かないでください。
- 熱を発生する機器の上に本機を置かないでください。
- 本機の近くに大型トランスを持つ機器がある場合にハム(うなり)を誘導することがあります。この場合は、この機器との間隔や方向を変えてください。
- テレビやラジオの近くで本機を動作させると、テレビ画面に色むらが出る、またはラジオからの雑音が出る場合があります。この場合は、本機を遠ざけて使用してください。
- 携帯電話などの無線機器を本機の近くで使用すると、着信時や発進時、通話時に本機から雑音が出ることがあります。この場合は、それらの機器を本機から遠ざけるか、もしくは電源を切ってください。

---

## 結露について

---

本機を寒い場所から暖かい場所へ移動したときや、寒い部屋を暖めた直後など、気温が急激に変化すると結露を生じることがあります。結露したときは、約1~2時間放置してから電源を入れてお使いください。

---

## 製品のお手入れ

---

製品の汚れは、柔らかい布でからぶきしてください。化学雑巾、ベンジン、シンナー、アルコールなどで拭かないでください。表面を傷める、または色落ちさせる原因となります。



## 本機の概要

dBTechnologies DVA MINI G2は、フルリモートコントロールを実現する高性能DSP搭載のパワフルなパワーアンプを驚異的に軽量・コンパクトな筐体に内蔵する2-Way アクティブ ライン アレイモジュールです。

- 高域用に2個の0.75インチ スピーカー (1インチ ボイスコイル) を、低域用に2個の6.5インチ ウーファー (1.75インチ ボイスコイル) を搭載し、最大400 W(RMS)の出力が可能なDigipro G3アンプ部は、ロータリー式のDSPコントローラーで、スピーカーから出力される音を7種類のプリセットで、細かくコントロールできます。
- また、リニアフェイズ FIR フィルターにより、ラインアレイ構成のカバレッジを正確にクリアで分かりやすいサウンドで提供します。
- 無料のコントロールソフトウェア(dBTechnologies AURORANET)を使うことで、RDNet接続(\*)経由により、ラインアレイのコントロールやコンフィギュレーションをリモートで、詳細に行うことができます。

※ 別売りのリモート 機器 [RDNet Control 2]、または [RDNet Control 8] が必要になります。

詳細は、リモート機器の取扱説明書を指定ページからダウンロードして参照してください。(12ページ「リモート機器の取扱説明書ダウンロード先」を参照)

## 設置方法

最終的なラインアレイの特性や必要な角度が決まったら設置を始めてください。

- 適切に設置作業が完了した後、各ケーブル類を接続してください。
- 通常の設置や安全な耐荷重は、dBTechnologies Composer ソフトウェアで確認することができます。

dBTechnologies Composerソフトウェアの内容は、12ページ「dBTechnologies Composerのダウンロード」を参照してください。

### 注意

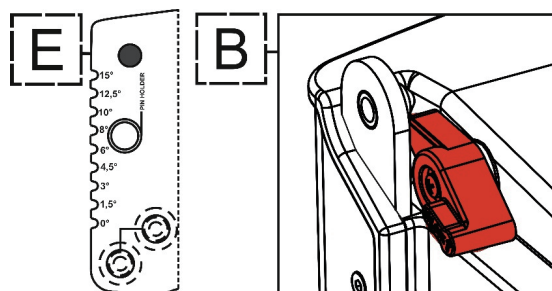
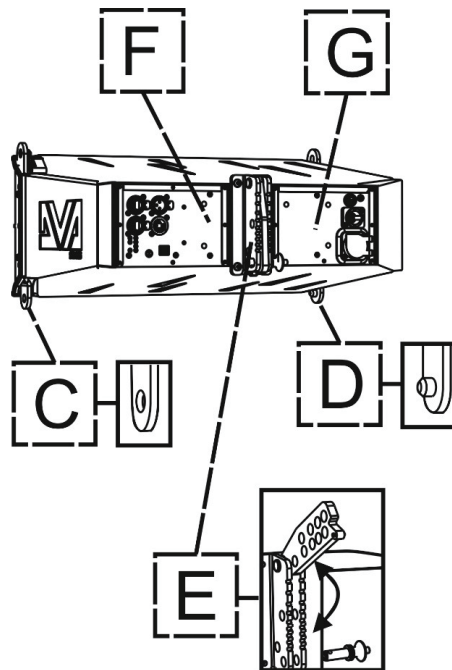
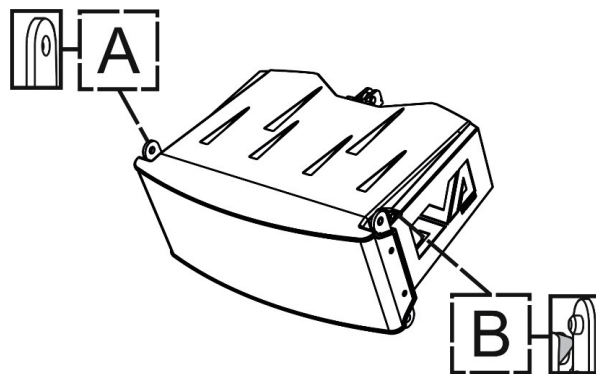
ここで紹介する設置方法以外で、絶対に設置しないでください。指示を守らない場合、人がけがをしたり、機器が壊れたりする原因となります。

- 設置は、資格や経験を持った人(専門業者)が必ず行い、使用者は必ず安定性と安全性を確認して人や動物・機器に損害を与えないようにしてください。
- 設置部分の強度が機器の総重量に十分対応可能か確認してください。(設置部分の強度が不足している場合、落下や転倒して、人や動物・機器に損害の原因になります。)・本体のハンドルや本体ブラケットを使って本機器を吊るさないでください。
- 別売りアクセサリを安全にお使い頂くために、使用前など定期的にしかりと固定・組み立てられているかチェックしてください。(弊社は、不適切なアクセサリの使用、または追加による損傷に対していかなる責任も負いません。)
- スピーカーは、必ず安定した場所に確実に設置してください。
- 安全上の理由により、適切な固定方法を用いることなくスピーカーを重ねて設置しないでください。
- スピーカーを吊り下げる場合は、すべての部品をチェックし、ダメージ・変形・歪み・欠落がないか確認し、設置中の安全に問題がないことを確認してください。
- スピーカーを重ねる場合、指定の荷重や台数を超えての設置は、機器または人に損害を与える恐れがあります。

## 本機の機構説明

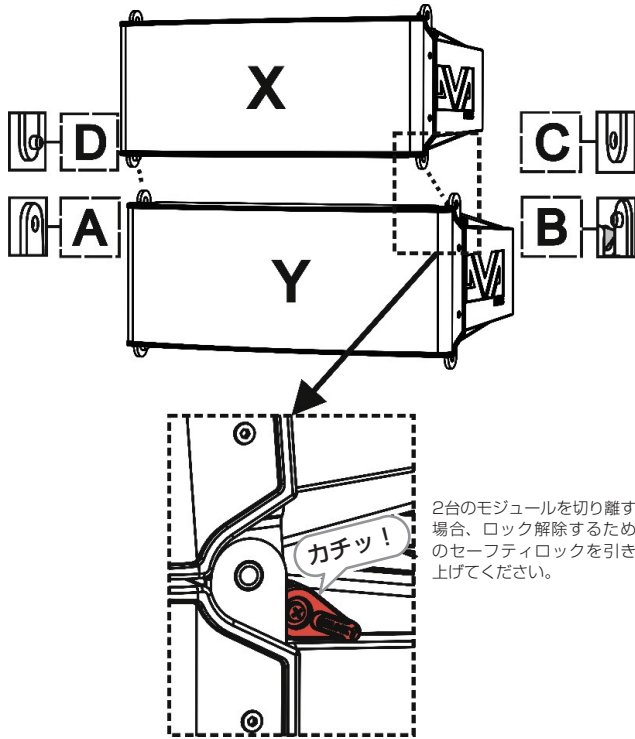
ラインアレイを簡単かつ確実に組立/解体できるよう、下記の機構を装備しています。

- ▲ アッパーブラケット (穴付き)
- アッパーブラケット (クイックリリース・ピン組み込み済み)  
組み込み済みアッパーブラケットには、セーフティロック機構が組み込まれています。(下図参照)
- ロウアーブラケット (穴付き)
- ロウアーブラケット (クイックリリース・ピン組み込み済み)
- リアブラケット (ジョイント金具とクイックリリースピン付き)
  - リアブラケットは、ラインアレイ・モジュール間の許容傾斜角度を示しています。
- オーディオ/ネットワーク入出力部およびコントロール部
- 電源IN・LINK/ヒューズ部

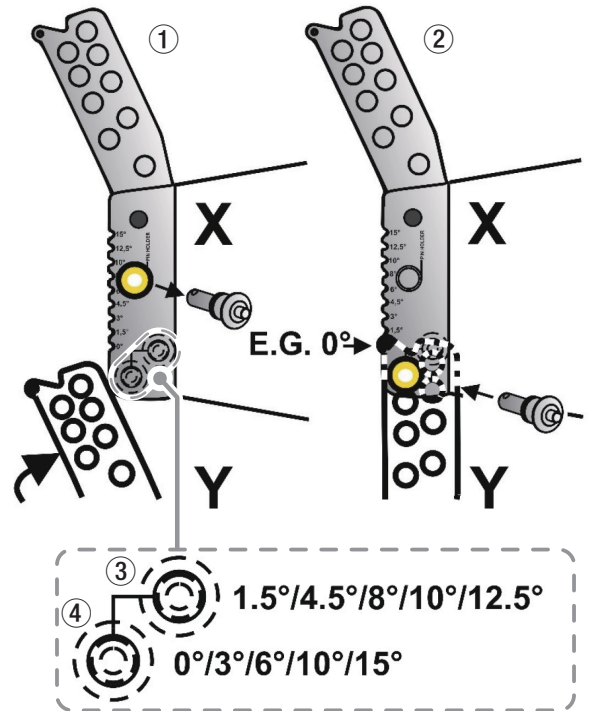


## ラインアレイ構成によるフロント側の取り付け

- 2台のDVA MINI G2モジュール(下図の"X" および"Y")を重ねて、下図のようにフロント側の①ロウアーブラケットのクイックリリース・ピンを②アッパーブラケットの穴に挿し込んでください。  
同様に③アッパーブラケットのクイックリリース・ピンを④ロウアーブラケットの穴に挿し込んでください。

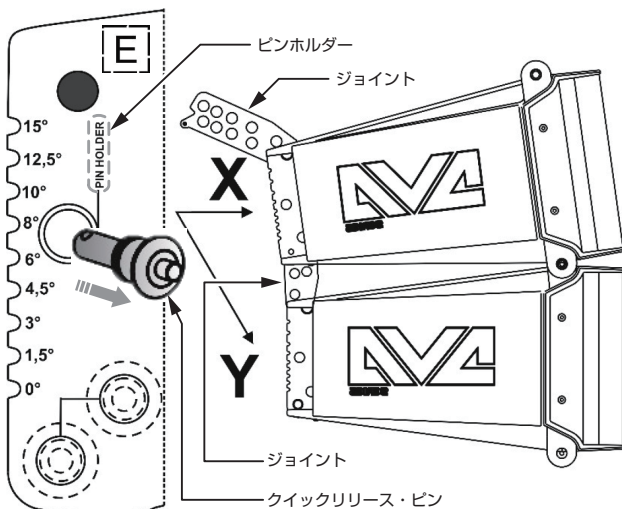


- "X"モジュールの⑤リアブラケットに、"Y"モジュールのジョイントを目的の角度に穴を合わせて、挿入してください。(下図①)"Y"モジュールのジョイントにピンを挿入して、目的の位置でロックしてください。(下図②)
- [1.5°/4.5°/8°/12.5°]の角度は、下図③の穴を選択
- [0°/3°/6°/10°/15°]の角度は、下図④の穴を選択



## ラインアレイ構成によるリア側の取り付け

- "X" および"Y" のモジュール 両方の⑥リアブラケットのピンホルダーの位置からリアのクイックリリース・ピンを引き出してください。



### メモ

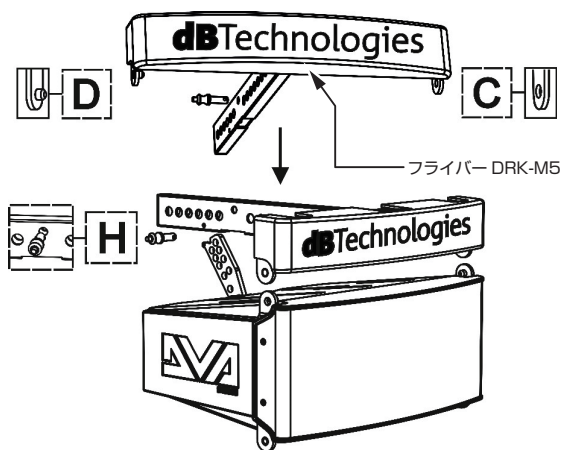
- 設置する前に各ピンが完全にロックされ、モジュール間に緩みや変形がなく、しっかりと組まれていることを確認してください。
- 安全確保のため、定期的にモジュールやピン、ブラケットの状態を確認してください。

## ファイバー DRK-M5(別売り)を使った構成

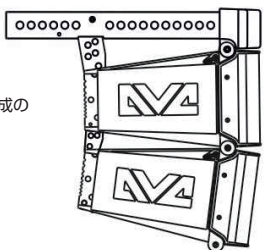
ファイバー DRK-M5は本体と同じく、3点式 クイック・リギング・システム 方式を採用しています。

### 注意

- ファイバー DRK-M5の最大耐荷重(最大荷重 400 kg)は、吊り下げ金具の取付け位置で、異なりますのでファイバー DRK-M5の取扱説明書を参照してください。
- 指定の荷重や台数を超えての設置は、機器または人に損害を与える恐れがあります。
- フロント側には、本体と同じC/D口ウーブラケットを装備しており、フロント側の取り付けは、2台のラインアレイ・モジュールの接続方法と同様です。(下図参照)
- リア側のH穴とクイックリリース・ピンにより、希望の傾きを選択できます。



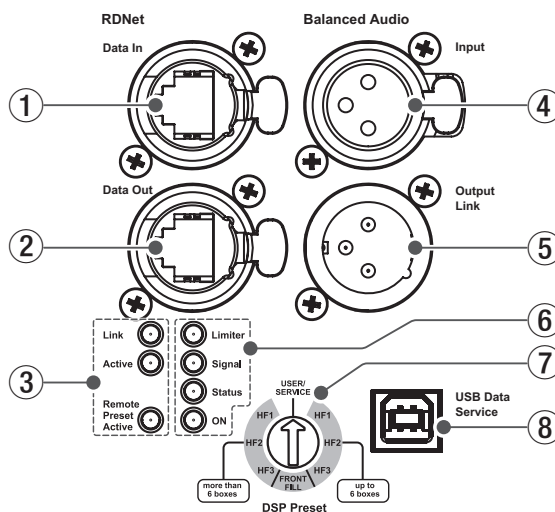
ラインアレイ構成の  
取り付け例



- 取り付けには様々なケースがあるため、正しい取り付け手順と詳細については、ファイバー DRK-M5の取扱説明書を指定ページからダウンロードして参照してください。(12ページ「アクセサリ」の取扱説明書ダウンロード先)を参照してください。)

## 電源/コントロール パネルの名称

### コントロール部



- ① **Data in (RDNet ネットワーク 接続用)**  
データ 入力 etherCON 端子 (Neutrik 社製)  
別売りのネットワークコントローラー RDNet Control 2、または RDNet Control 8 に接続します。  
また、他の RDNet 対応 スピーカーからデジチェーン 接続の入力として使用します。
- ② **Data Out (RDNet デジチェーン 出力用)**  
データ 出力 etherCON 端子 (Neutrik 社製)  
本機を複数台設置する際やラインアレイ 構成で、他の RDNet 対応 スピーカーにデジチェーン 接続の出力として使用します。
- ③ **コントロールLED**  
RDNet ネットワーク 関連のステータス LED です。
  - **Link LED (黄色)**  
RDNet ネットワークがアクティブの場合に点灯します。
  - **Active LED (緑色)**  
RDNet ネットワーク上でデータ通信を行っている際、点滅します。
  - **Remote Preset Active LED (緑色)**  
本機が RDNet ネットワーク 上で、制御 (リモートコントロール) されている場合に点灯します。  
RDNet ネットワークの使用方法の詳細は、12ページ「リモート機器の取扱説明書 ダウンロード先」を参照してください。
- ④ **Input**  
XLR バランス 入力端子  
XLR 端子によるアナログバランス入力端子で、ミキサーや他のスピーカー (音源) のバランス信号入力が可能です。

### 注意

電源を入れる前には、音源側の機器の音量を最小にして下さい。

- ⑤ **Output Link**  
XLR バランス 出力端子  
XLR 端子によるアナログバランス 出力端子で、本機を複数台設置する際にデジチェーン 構成で、出力するオーディオ信号の接続や他のアンプ 内蔵 スピーカーにオーディオ 信号を出力する際に使用します。



## ⑥ ステータスLED

本機の状態をLED表示します。(下記表を参照)

	Limiter LED (赤色)	Signal LED (緑色)	Status LED (黄色)	ON LED (緑色)
電源投入時	消灯	消灯	数秒間、点灯	消灯
通常使用時	リミッター作動時 点灯	入力信号検知時 点灯	消灯	常時点灯
部分的なエラー	リミッター作動時 点灯	入力信号検知時 点灯	周期的に点滅	常時点灯
全体的なエラー	周期的に点滅	消灯	常時点灯	消灯

### 注意

Limiter LED が連続して点灯した状態は、入力信号の歪み音を伴う、過度の負荷をかかっている状態を示しています。そのままの状態、長時間連続使用しないでください。その場合、機器が壊れたりする原因となります。

## ⑦ DSPプリセット(セレクタースイッチ)

8ポジションのセレクタースイッチで、7種類のプリセットとUSER/SERVICEポジションを備えています。

- USER/SERVICEポジションは、ファームウェアの更新時、またはRDNet接続時に設定値の保存先となります。

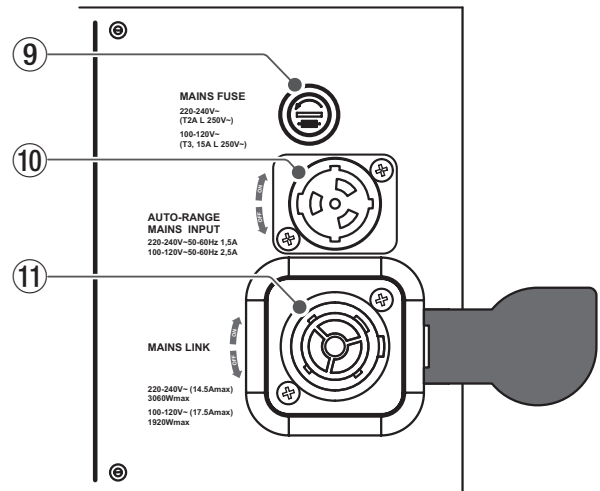
## ⑧ USB Data Service

サービスデータ 端子(USB Bタイプ)

本機のF/W をアップデートする際、使用します。

F/W のダウンロード方法は、12ページ「F/Wアップデート(USB Burner Manager ソフトウェア)」を参照してください。

## 電源部



### ⑨ 電源 フューズホルダー

フューズホルダー

万一、動作しなくなった場合は、電源コードを抜いてティアック修理センター(巻末に記載)にご相談ください。

### ⑩ AUTO-RANGE MAINS INPUT

AC 電源 端子(Neutrik 社製 powerCON TRUE1 端子)

専用のNeutrik社製 powerCON TRUE1 付 電源コードを接続します。

電源コードを接続して、プラグ端子を時計回りに回転させると端子がロックして、電源が入ります。

### 注意

- ケーブルの接続や取り外しは、必ず電源を切って電源コードを全て外した状態で行ってください。
- 不具合や音質劣化を防ぐために、ダメージを受けたケーブルは新しいものと交換してください。
- 専用電源ケーブルについては、タスカム カスタマーサポート(巻末に記載)にご相談ください。

### ⑪ MAINS LINK

電源リンク 端子(Neutrik 社製 powerCON TRUE1 端子)

他のアクティブスピーカーなどに電源を供給する端子で、**AUTO-RANGE MAINS INPUT** 端子(⑩)とは、並列接続になっています。

ご使用時は、専用のNeutrik社製 powerCON TRUE1 付LINKケーブル(別売り)をお使いください。

MAINS LINK(電源Link 端子)の最大供給電流は、下記の表に記述してある許容範囲まで、スピーカーを接続することができます。

MAINS LINK 端子の最大供給電流 (AC100-120V時)

17.5 A (max)/1920 W (max)

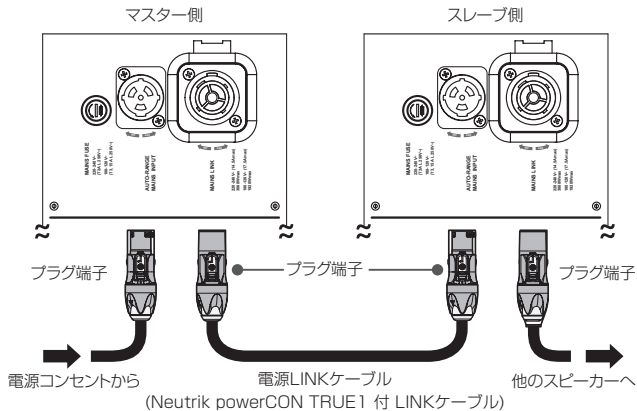
### 注意

- 上記以外の方法で、他のアクティブスピーカーなどに電源供給を絶対に行わないでください。その場合、感電および機器を破損する恐れがあります。
- 専用電源ケーブルについては、タスカム カスタマーサポート(巻末に記載)にご相談ください。

## 電源および外部機器との接続

本機は、電源とオーディオ信号を1台目のスピーカー(マスター側)から、2台目以降のスピーカー(スレーブ側)にデジチェーン接続で供給することができます。

### 電源と電源リンクの接続



### 電源の接続

本機の**AUTO-RANGE MAINS INPUT** 端子(⑩)に専用のNeutrik powerCON TRUE1付電源コードを接続し、プラグ端子を時計回りに回転させて、ロックしてください。

ロックされると電源が入ります。また、電源を落とす場合は、逆の手順で取り外してください。

#### 注意

- 電源を入れる前に必ず、音源側の機器の音量が最小であることを確認して下さい。
- 電源コードは必ず、専用のNeutrik powerCON TRUE1付電源コードをご使用ください。また、電源LINKケーブルも必ず、Neutrik powerCON TRUE1付LINKケーブル(別売り)をお買い求めの上、ご使用ください。それ以外のコードやケーブルを使用すると感電およびスピーカーの動作に影響する場合があります。(弊社は、不適切なケーブルやコード類またはアクセサリを使用もしくは追加による損傷に対していかなる責任も負いません。)
- 不具合や音質劣化を防ぐために、ダメージを受けたコードやケーブルは、新しいものと交換してください。
- ケーブルの接続や取り外しは、必ず電源を切って電源コードを全て外した状態で行ってください。
- 濡れた手または、機器や電源コード(または電源LINKケーブル)が濡れた状態で、絶対に電源コード(または電源LINKケーブル)の接続や取り外しをしないでください。感電および機器を破損する恐れがあります。

### 電源リンクの接続

**MAINS LINK** 端子(⑪)は、マスター側からスレーブ側に専用のNeutrik powerCON TRUE1付LINKケーブルを使って、デジチェーン接続が可能です。

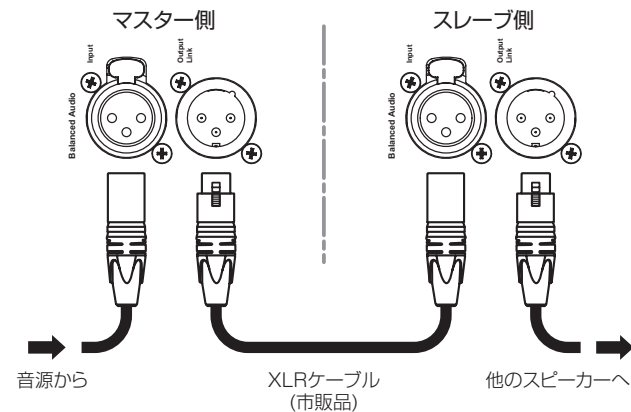
- まず、マスター側の本機の**AUTO-RANGE MAINS INPUT** 端子(⑩)に、Neutrik powerCON TRUE1付電源コードを前述の「電源の接続」の方法で接続し、その片側を電源コンセントに接続します。
- 次に、専用Neutrik powerCON TRUE1付LINKケーブルで、マスター側の**MAINS LINK** 端子(⑪)とスレーブ側の**AUTO-RANGE MAINS INPUT**端子(⑩)に接続します。

上記の接続を繰り返し、マスター側の**MAINS LINK** 端子(⑪)の下側に記載された最大供給電流に達するまで、スレーブ側のスピーカーを接続することが可能です。

## オーディオ信号の接続

同一音源を2台以上のスピーカーに接続する場合、マスター側からスレーブ側へ送ることができます。

- まず、音源機器からのオーディオ信号をマスター側の**Input** 端子(④)に接続した後、バランスXLRケーブル(市販品)を使って、マスター側の**Output Link** 端子(⑤)とスレーブ側の**Input** 端子(④)に接続します。
- 上記の接続を繰り返すことで、以降のスピーカーを接続することができ、デジチェーン接続が可能です。



#### 注意

- 電源を入れる前には、音源側の機器の音量を最小にしてください。
- 入力機器のケーブルの接続や取り外しは必ず、本機の電源を切り、電源コードを全て外した状態で行ってください。
- 不具合や音質劣化を防ぐために、ダメージを受けたケーブルは新しいものと交換してください。
- 不完全なケーブルの使用、認証されていないケーブルの使用、およびシステム構成や使用する国の規格に適合しないコードまたは、ケーブルの使用による責任を負いません。

## RDNetの接続

本機をリモート操作をする場合は、別売りのネットワークコントローラー (RDNet Control 2やRDNet Control 8) を使用して、制御したいスピーカーのData In 端子(①)にネットワークコントローラーからのLAN ケーブル(市販品)を接続します。

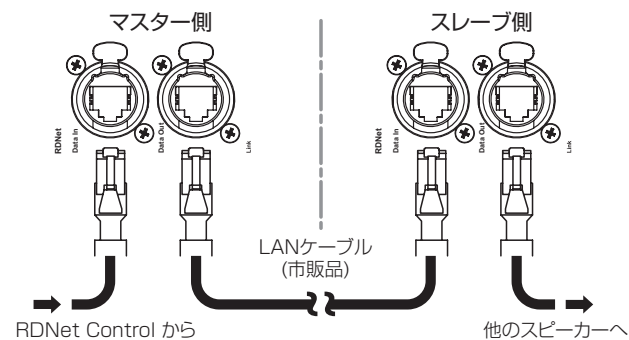
RDNet 接続で複数機を制御する場合、マスター側のData Out 端子(②)からスレーブ側のData In 端子(①)にLAN ケーブル(市販品)で接続します。

この接続を繰り返すことで、接続されたスピーカーを制御することができます。

同様に複数のラインアレイ構成がある場合、制御できるスピーカーの最大数は下記となります。

- RDNet Control 2 : 1 ch/32台×2 ch 最大64台
- RDNet Control 8 : 1 ch/32台×8 ch 最大256台

RDNet ネットワーク上に接続した機器が認識された場合、コントロールLED(③)のLink LED (黄色) が点灯します。



RDNet ネットワークの使用の詳細は、12ページ「リモート機器の取扱説明書ダウンロード先」を参照してください。

### 注意

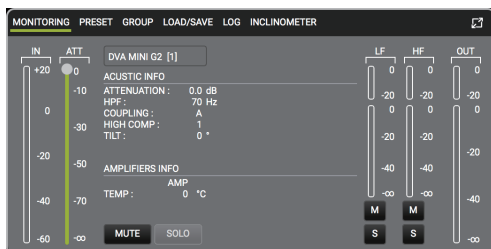
本機をネットワーク接続で制御をする場合、DSPプリセット(⑦)の設定は、ネットワークでの設定が優先されます。(スピーカー単体での設定は、使用されません。)

設置前に本機およびラインアレイ構成のスピーカーのパラメーターを物理的に複製保存することをお勧めします。

## リモートコントロール

無料のAURORANET ソフトウェアを使用して、RDNet 接続による本機のパラメーターをリモートコントロールで設定可能です。

- パラメーター設定は、RDNet 接続が正しく行われた後、AURORANET ソフトウェアを使用することで、本機で設定するよりも、多くのパラメーターをリモートコントロールで設定できます。



パラメーター設定画面

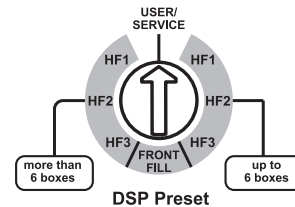
- RDNet と AURORANET ソフトウェアによるリモートコントロールの場合、本機のローカル設定はバイパスされ、AURORANET ソフトウェアによってすべて制御されます。

AURORANET ソフトウェアの使用の詳細は、12ページ「AURORA NET ソフトウェアのダウンロード先」を参照してください。

## カバレッジ/フィルタープリセット

本機は、デジタル・サウンド・プロセッシングにより7種類のデジタルイコライザーがあらかじめプログラムされており、ソフトウェア、またはオンボードから目的に応じて、アコースティックフォーカスを可変させることができます。

オンボードのDSPプリセットを選択するには、小さなマイナスドライバーを使ってロータリースイッチを希望する番号に合わせてください。



up to 6 boxes (6台以下のラインアレイ構成時)	
HF1	近距離時のカバレッジ設定
HF2	中距離時のカバレッジ設定
HF3	遠距離時のカバレッジ設定
more than 6 boxes (7台以上のラインアレイ構成時)	
HF1	近距離時のカバレッジ設定
HF2	中距離時のカバレッジ設定
HF3	遠距離時のカバレッジ設定
FRONT FILL	フロントフィル(中抜け補完用)用設定
SERVICE/USER	RDNet接続時は、設定値の保存先となります。また、ファームウェア更新時にも使用します。

## 各種ダウンロード

### dBTechnologies Composerのダウンロード

dBTechnologiesのウェブサイトより、本ソフトウェアをダウンロードできます。

- ダウンロードページ

<http://www.dbtechnologies.com/en/downloads.aspx>  
ダウンロードページから、"Software & Controller"の項目を開いて、上段の"Software"の列から対象となる名前の圧縮ファイル(zip形式)をダウンロードしてください。

- セットアップファイル

"dBTechnologies\_Composer\_setup\_x.x.x.zip"

"Software & Controller"の項目を開いて、上段の"Manuals"の列から対象となる名前のPDFファイルをダウンロードしてください。

- ソフトウェア取扱説明書

"Manual-dBTComposer\_REVx-x.pdf"

セットアップファイルを解凍後、ソフトウェア取扱説明書の手順に従って操作してください。

### AURORA NET ソフトウェアのダウンロード先

#### ダウンロードとインストール方法

まず、dBTechnologiesのウェブサイトで、お客様のユーザー登録(→2ページを参照)を行ってください。

ユーザー登録を完了し、ログインを行わないとソフトウェアのダウンロード先(MY DOWNLOADページ)に移動しません。

#### ダウンロード

ログイン後、dBTechnologiesの下記ウェブサイトで本ソフトウェアをダウンロードできます。

- <http://www.dbtechnologies.com/en/downloads.aspx>  
ダウンロードページから"Software&Controller"の項目を開いて、上段の"Software"の列からWindowsまたはMac OSの圧縮ファイル(zip形式)を選択すると、MY DOWNLOADページに移動します。

そのページから目的のファイルを選択して、圧縮ファイルをダウンロードしてください。

#### インストール

- Windows

ダウンロードしたファイルをダブルクリックして、自己解凍型のファイルを開き、現れたフォルダー内のsetup.exeファイルを開いてください。

- Mac OS

ダウンロードしたディスクイメージを開き、AURORA NETのアイコンをアプリケーションフォルダーにドラッグしてください。

#### 注意

ソフトウェアをダウンロード中は、PCの電源を切らないでください。故障の原因になります。

### ソフトウェアの使用に関して

本ソフトウェアは、AEB INDUSTRIALE s.r.l. に帰属し、使用に際しては、同社の定める使用許諾条件によります。

### F/Wアップデート

#### (USB Burner Manager ソフトウェア)

本機の全ての機能を確実に使うためには、F/Wを常に最新のものにしておくことをお勧めします。

定期的にdBTechnologiesのウェブサイトのダウンロードページをチェックしてください。F/Wの更新が合った場合は、以下の手順でアップデートすることができます。

本機の通信用USB端子は、8ページ「コントロール部」を参照してください。

- ダウンロードページ

<http://www.dbtechnologies.com/en/downloads.aspx>

1. 上記のDownloadページから"Software & Controller"を開いて、[USB BURNER MANAGER]ソフトウェアをダウンロードし、表示される手順に従ってインストールしてください。
2. 上記のDownloadページから"DVA"を開いて、上段の"Firmware"の列と対象となる"DVA"機種の中から、最新のF/W(zip形式)をダウンロードしてください。  
ダウンロード後、解凍してください。
3. [USB BURNER MANAGER]ソフトウェアを起動し、画面右上から、"File Opening..."を選択してください。
4. 先程ダウンロードしたF/Wを選択してください。  
(お使いのシステムに最適かチェックします。)
5. UPDATEをクリックし、アップデート作業をスタートしてください。

#### 注意

F/Wアップデート後の電源投入で、保存した各種設定が失われる場合があります。

### リモート機器の取扱説明書ダウンロード先

リモート機器の取扱説明書については、dBTechnologiesのウェブサイトのダウンロードページから、"Software & Controller"の項目を開いて、上段の"Manuals"の列から対象となる名前のPDFファイルをダウンロードしてください。

- 取扱説明書

- RNet Control 2

"RNet CONTROL 2\_cod420120189\_Revx.x-MAN.pdf"

- RNet Control 8

"RNET CONTROL8\_MAN\_REV.xxx.pdf"

- ダウンロードページ

<http://www.dbtechnologies.com/en/downloads.aspx>

### アクセサリーの取扱説明書ダウンロード先

各アクセサリーの取扱説明書については、dBTechnologies社のウェブサイトのダウンロードページから、"Installation"の項目を開いて、上段の"Manuals"の列から対象となるアクセサリーのPDFファイルをダウンロードしてください。

- ダウンロードページ

<http://www.dbtechnologies.com/en/downloads.aspx>



## トラブルシューティング

### スピーカーの電源が入らない。

- 電源機器をチェックして電源が供給されている事を確認してください。
- Neutrik powerCON TRUE1付 電源コードおよび NeutrikpowerCON TRUE1付 LINKケーブルの端子が、しっかり接続されて、時計回りにロックしているか確認してください。

### スピーカーの電源は入るが、音が出ない。

- 各入力端子が正しく接続されており、Neutrik powerCON TRUE1付 電源コードを使用されているか、確認してください。
- ケーブル類に損傷がないか確認してください。
- 接続したミキサーなどの音源に電源が入っている状態で、オーディオ信号が出力されているか確認してください。
- 接続した機器の出力レベルを確認し、適正な位置に合わせてください。
- RDNet ネットワークに接続している場合は、AURORANET ソフトウェア上で、MUTE機能が無効になっていることを確認してください。

### スピーカーの音が歪んでいる。

- 使用しているケーブルに損傷がないか確認してください。損傷している場合は、交換してください。(不具合や音質劣化を防ぐために、ダメージを受けたケーブルは新しいものと交換してください。)
- RDNet ネットワークに接続している場合は、AURORANET ソフトウェアから、全てのパラメーターが適切な値に設定されていることを確認してください。(本機がリモートコントロールされている場合、本機のローカル設定は、バイパスされますので、注意してください。)

## 仕様

### 形式

2ウェイ アクティブ ライン アレイモジュール

### スピーカーユニット

HF	: 0.75 インチ ×2 (1 インチ ボイス コイル採用)
LF	: 6.5 インチ ×2 (1.75 インチ ボイス コイル採用)
指向性(カバレッジ)	
水平方向	: 100° (-6 dB, 80 Hz~19,000 Hz)
垂直方向	: 15° (ラインアレイ構成による)

### アンプ部

形式	: Digipro G3 クラスD
RMS出力	: 400 W
ピーク出力	: 800 W
冷却システム	: 対流式

### DSP部

コントローラー	: DSP 56 bit
AD/DA処理	: 24 bit/48 kHz
DSPフィルター	: リニアフェイズFIRフィルター
カバレッジ/フィルタープリセット	: 7プリセット
リミッター	: マルチバンド、RMS/ピーク、サーマル
警告LED	: リミッター、信号入力、ステータス、オン
状態LED	: リンク、アクティブ、リモートプリセット有効

### 周波数特性

-10 dB 時	: 75 Hz~20,000 Hz
-6 dB 時	: 80 Hz~19,000 Hz

### 最音圧レベル

最大SPL	: 131 dB
-------	----------

### クロスオーバー周波数

: 1,900 Hz (24 dB/oct)

### 外部入力

Input 端子	: XLR 端子 (メス) ×1 (バランス)
USB 端子	: B タイプ ×1
RDNet 端子	: etherCON 端子 × 1 (Neutrik社製)

### 外部出力

Output Link 端子	: XLR 端子 (オス) ×1 (バランス)
電源 Link 端子	: powerCON TRUE1 端子 ×1 (Neutrik社製) 最大供給電流: 17.5 A /1920 W
RDNet 端子	: etherCON 端子 × 1 (Neutrik社製)

## 一般

### 電源

電圧 : AC 100~240 V(自動切替式)、50/60 Hz  
電源端子 : Neutrik社製 powerCON TRUE1端子

### 注意

日本国内においては、AC100 Vのみ動作保証となります。  
(それ以外の電圧で、使用しないでください。)

### 動作温度

-5 ~ +50℃

### 外形寸法

幅 x 高さ x 奥行き (突起部を含まず)  
460 x 190 x 345 mm

### 質量

8.4 kg

### 消費電流(\*)

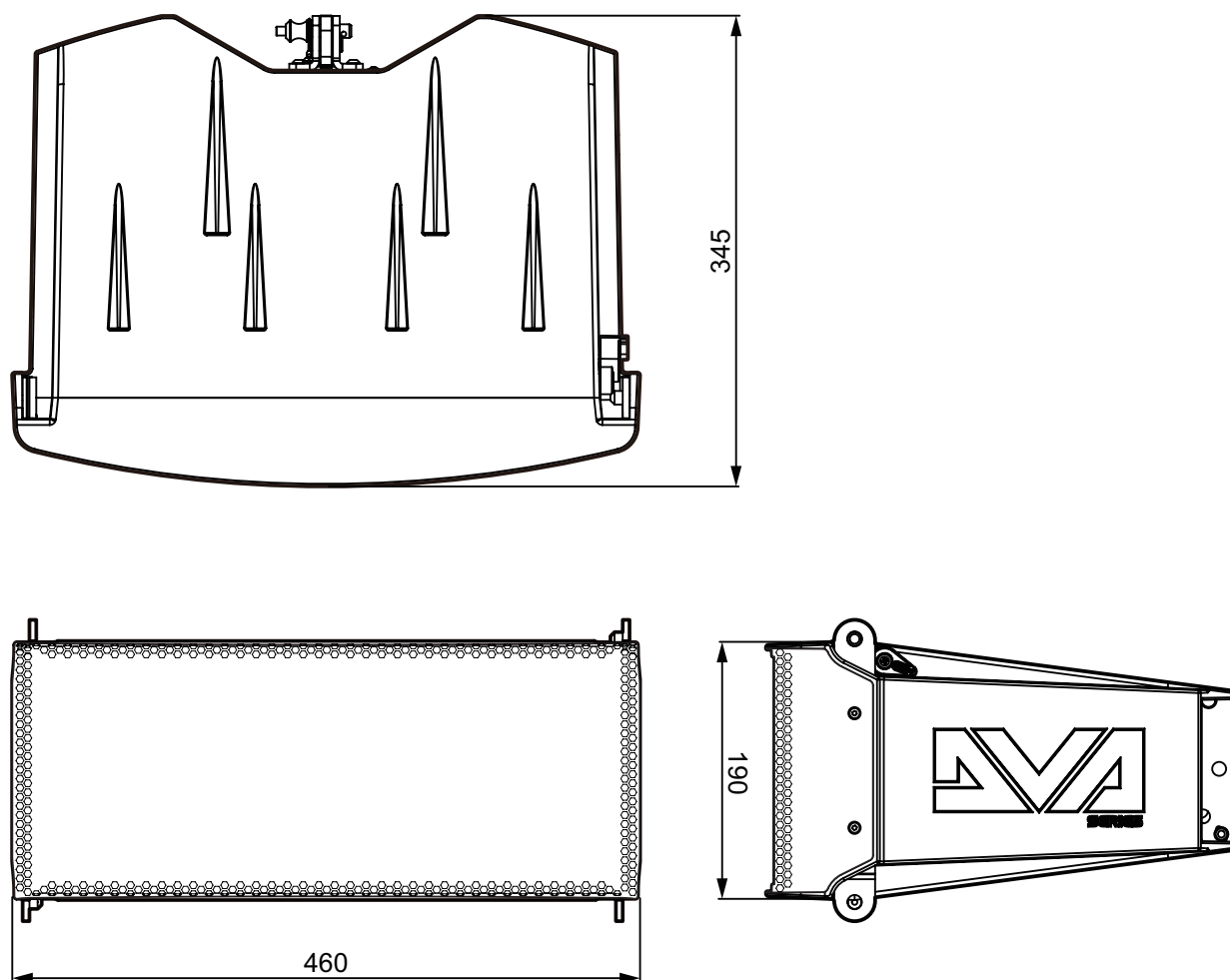
1.1 A (100~120 V時: 最大1/8 出力時) ※1  
1.4 A (100~120 V時: 最大1/3 出力時) ※2

### 消費電力

15 W ※3

- ※ 1: 通常の使用状況で、フルパワー出力の1/8の場合の消費電力 (音楽再生中にクリッピングがほとんど発生しない状態) になる構成時これを最小値としてください。
- ※ 2: 通常の使用状況で、フルパワー出力の1/3の場合の消費電力 (音楽再生中にクリッピングが頻繁に発生する状態) 設置時やツアー時は、消費電流の値を参照して、電源容量を計算してください。
- ※ 3: 電源オンで入力信号がない時

## 寸法図



- 取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。
- 製品の改善により、仕様および外観が予告なく変更することがあります。



## 無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、ティアック修理センターが無料修理致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、本書をご提示の上、ティアック修理センターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前にティアック修理センターにお問い合わせください。  
無償修理の対象は、お客さまが日本国内において購入された日本国内向け当社製品に限定されます。
3. ご転居、ご贈答品などでお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、ティアック修理センターにご連絡ください。
4. 次の場合には、保証期間内でも有償修理となります。  
(1)ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷  
(2)お買い上げ後の輸送/移動/落下などによる故障および損傷  
(3)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷  
(4)接続しているほかの機器に起因する故障および損傷  
(5)業務上の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷

(6)メンテナンス

(7)本書の提示がない場合

(8)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名(印)の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合

5. 本書は日本国内においてのみ有効です。  
These warranty provisions in Japanese are valid only in Japan.
6. 本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※ この保証書は、本書に明示した期間/条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行しているもの(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、ティアック修理センターにお問い合わせください。



# ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム カスタマーサポート 〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

● 電話 **042-356-9137** 携帯電話・PHS・IP電話から

● ナビダイヤル  **0570-000-809** 一般電話から

● FAX **042-356-9185**

受付時間は、10:00~12:00/13:00~17:00です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センター 〒358-0026 埼玉県入間市小谷田858

● 電話 **04-2901-1033** 携帯電話・PHS・IP電話から

● ナビダイヤル  **0570-000-501** 一般電話から

● FAX **04-2901-1036**

受付時間は、9:30~17:00です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

■ 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

Printed in Japan

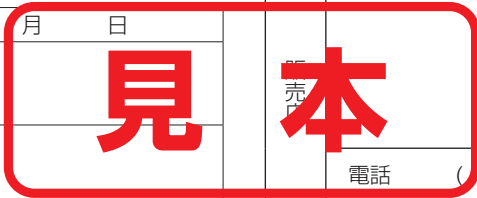
## 保証書

品名 および 形名	dBTechnologies <b>DVA MINI G2</b>		
機番			
保証期間	本 体	1年	

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から左記の期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、取扱説明書に記載のティアック修理センターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

お買い上げ日	年 月 日		
お 客 様	お名前		
	ご住所		

販売店			
電話	( )		



お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

## ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

ティアック修理センター

〒358-0026 埼玉県入間市小谷田858

電話：0570-000-501(ナビダイヤル) / 04-2901-1033

03212 MA-3345B